

周南地域の野犬問題への対策について

1 これまでの取組

(1) 野犬の捕獲（県）

①捕獲体制

- 通報アプリ等の情報を活用した巡回調査、捕獲の実施
- 周南緑地周辺に加え、市内の苦情地域や被害発生地域での捕獲の実施
- 県と市で連携した合同捕獲の実施
- インターネットを利用した大型囲い檻の遠隔捕獲システムの活用

②捕獲実績

年度	周南市内全域			うち周南緑地		
	成犬	子犬	合計	成犬	子犬	合計
平成 30 年度	120	630	750	12	176	188
令和元年度	165	676	841	59	245	304
令和 2 年度	105	608	713	28	232	260
令和 3 年度	73	439	512	9	176	185
令和 4 年度	143	370	513	38	133	171
令和 5 年度	102	182	284	19	90	109
令和 6 年度	60	87	147	21	43	64

※令和 6 年度：2 月末までの数

(2) 野犬への餌やり行為の対策（市）

①餌やり禁止パトロール

- 回数 [R6 年度] 日中：184 回、早朝・夜間：20 回（～R7. 2）
- 結果 [R6 年度] 指導 9 回（内、文書指導 1 回）、餌回収 25 回（～R7. 2）

②公園・墓地内の管理強化（野犬が棲みにくい環境づくり）

大迫田共同墓地周辺及び公園管理区域の草刈り 延べ約 43, 000 m²

(3) しゅうなん通報アプリ（野犬情報通報機能）の配信（市）

- 総ダウンロード数：8, 117 件（～R7. 2）
- 通報件数：[R6 年度] 417 件（～R7. 2）
- 情報は周南環境保健所と共有し、野犬捕獲や餌やり行為への対策に活用

(4) 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組（県・市）

- 啓発イベントの実施（R6. 10. 26～27、晴海親水公園）
- ホームページ等による情報発信
- 周南緑地周辺の自治会連合会長との意見交換会の開催（R7. 1. 31）
- 必要に応じて野犬対策について説明会を開催
- 中学校への出前講座の実施（R6. 9. 5）

(5) 野犬対策情報交換会の実施（県・市）

- 緑地公園の管理者、県及び市で情報交換等を実施（R6. 6. 24）

成果と課題

◆取組成果

- 野犬の成犬について、合同捕獲や遠隔捕獲システムの運用により効果的に捕獲
- 野犬への餌やり行為について、パトロールやクラウド型防犯カメラの活用により、効果的に指導
- 通報アプリへの目撃情報等の活用による効果的なパトロールや捕獲等の実施
- 捕獲数の減少や、パトロールの実態、地域住民の声から、野犬の生息数は減っていると推測

◆課題

依然として、市内各所での野犬の目撃、追われた等の情報があり、捕獲やむやみな餌やり禁止に向けた対策の強化が必要

2 今後の取組・対策

(1) 野犬の捕獲（県・市）

- 通報アプリの情報等を活用して、生息状況等を把握し、集中捕獲等の実施
- 大型囲い檻等による捕獲の実施

(2) むやみな餌やり禁止に向けた対策（県・市・警察）

- 通報アプリの情報等を活用した、効果的・広域的な餌やり禁止パトロールの実施
- 餌やり行為を特定するための情報収集と行為者への厳正な指導・注意の実施
- 妨害行為者に対する警察との連携
- 地域との連携強化（餌やり情報の共有）

(3) 咬傷事故発生時の対応（県・市・警察）

- 事故状況への実態調査
- 周辺住民への説明、注意喚起等
- パトロールの強化、集中捕獲の実施

(4) 野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り（市）

- 野犬目撃情報等を参考に、棲みかとなる可能性が高い場所を選定し草刈りを実施

(5) 野犬情報の収集と共有（県・市）

- 「しゅうなん通報アプリ」の野犬通報情報を県と共有
 - ・野犬の目撃時間、場所等の情報を分析し、野犬捕獲に活用
 - ・通報場所等を示した地図情報をホームページで公開し、県民に注意喚起
- 学校内及び学校付近で野犬目撃情報があった際の、学校関係者との情報共有及び注意喚起

(6) 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組（県・市）

- 啓発イベントの開催
- ホームページ等による情報発信
- 地元説明会、意見交換会等の開催
- 中学校への出前講座の実施

(7) デジタル活用による野犬対策強化事業（県）

- 遠隔捕獲システムに技術改良を加えたシステムを構築し、周南 HC に 5 セット配備予定

(8) 「捕獲」だけでなく「保護」への取組み（市）（R6.6～）

- 捕獲又は保護された犬の譲渡活動への支援
- 犬又は猫の不妊去勢手術費に対する補助金の拡充